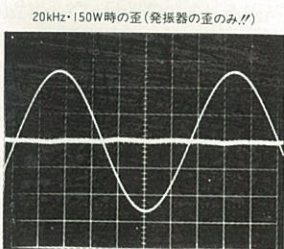


全域純A級150W+150Wという巨大スペックを達成した、
プリメインアンプの最高峰。ヤマハの2000番。

A-2000/a

頂点スペックを達成して、オーディオの夢がよみがえった。
純粋とパワーの両立、Dual Amp Class A with ZDR。

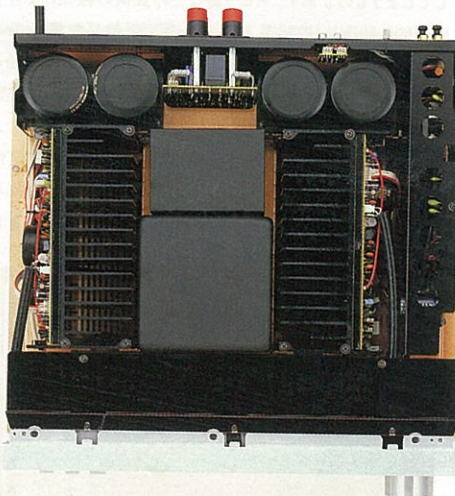
ヤマハ・プリメインアンプの最高峰A-2000/a、それはデジタルムーヴメント以降、オーディオがしばらく忘れかけていた夢を、鮮やかに蘇らせるものです。150W+150Wで全域完全A級動作、オーディオの永遠のテーマと正面から対峙してA-2000、そしてA-2000aは誕生しています。——ピュアAクラスの新領域を切り開いてきたヤマハアンプ技術のボルテージがいよいよここにきて頂点に達したのです。濃く立ち昇る品格の風情。趣味性豊かなアウトロック。王者の音をじっくりお聴き下さい。A-2000/aの技術的テーマは、純A級のピュアな音をそのままにアンプのパワーをどこまで大型化できるか、ということでした。常識的に考えれば、A-2000/aの規模でA級ハイパワー150W程度の巨大出力を得るとすると、どうしても発熱が激しくなり、その熱量は電気ストーブに匹敵するほど膨大になります。新開発Dual Amp Class A with ZDR回路は、ピュアA級アンプと、電力損失を受け持つAB級パワーアンプ(ブートストラップアンプ)とのコンビネーションによるもので、フローティング電源のような特殊な電源を用いることなく、極めて安定して150W(6Ω)のフルパワーまで純A級の素晴らしい音と特性を味わうことができます。勿論発熱の問題も一切解消。従来のアンプでは考えられなかった150W全域純A級の音をまったく安心して楽しむことができます。その音の伸びやかさ、ふくよかさ、鮮やかさは、正にヤマハならではの、2000/aならではの素晴らしいです。しかも、大型電源の採用もあって4Ω時170W+170W、8Ω時130W+130W。そして2Ω時のダイナミックパワーは何と400W+



20kHz・150W時の歪(発振器の歪のみ) 400Wに達するほどです。歪率は0.003%以下(6Ω・8Ω時)というもので、この値を20~20,000Hzの全帯域にわたってきれいに保証しています。上の波形はA-2000/aの150W出力時20kHzにおける波形です。ご覧のように実際には発振器のみの歪となっているのがお判りいただけるでしょう。

王者にふさわしい24万μFの巨大電源。ノンカレントアースで、アース問題からはパーフェクト・フリーになっています。

電源ケミコンには音質重視の立場から多分割箔マルチ端子構造を採用。容量は電流増幅段に片ch55,000μF×2、電圧増幅段に片ch4,700μF×2の合計24万μF(A-2000は合計



22万μF)という大容量となっており、ダイナミックな負荷にもビクともしない安定しきった電力供給を可能にしています。またアース問題に対して新開発Dual Amp Class A方式では、アースは電位を決めるだけで電流は流れないノンカレントアースとなっているため、この問題とは本質的に無縁となっています。

NS-2000、1000X、1000Mに捧げられる新回路「RICHNESS」アンプとスピーカの新たなパートナーシップがここにある。

プリアンプ部はメインアンプ部とは別電源とした上、MCアンプとイコライザアンプも別電源とする周到さて、共にZDR付きという贅沢さです。またフラットアンプはヤマハオリジナルのピュアカレントダムを採用するなど精密かつリニアな信号電送に努めています。さて注目の新回路「RICHNESS」は、ヤマハNS-2000、1000X、1000Mの特性に合わせた一種のイコライザ回路で、これらスピーカの低域f特をさらに1オクターブ、フラットに伸ばすことができます。ポジションは①2000専用②1000X・

1000M専用③汎用の3つに分かれています。各専用ポジションは特性的に低域を1オクターブ伸ばすものですが、このレベルでの1オクターブは想像以上の効果をもたらし、実際聴くと音楽の体積がひと回りほど大型化した印象です。NS-2000、1000X、1000Mの力強さ、美しさを実感していただけます。

ポリ塗装リアルウォルナットの重厚なアウトロック。いい音はその姿まで美しい。贅沢なクオリティパーツも魅力です。

外装は、高級グランドピアノと同じ豪華なポリ塗装リアルウォルナット仕上げ。いかにもその音を物語るような実に美しい姿です。どっしり落ちついた重量感あふれる風情をお楽しみ下さい。また、A-2000/aはツマミひとつひとつの形状とタッチにも気を配ったエレガントなフロントレイアウト。さらに、この全身には無酸素銅線使用極性付き電源コード、モンスターケーブル使用可能大型SP端子、金メッキピンジャック端子などのヤマハ・クオリティパーツを贅沢に採用。特性に表われない音の向上を徹底して追求しています。



ステレオプリメインアンプA-2000 ¥189,000

(主な規格) ●定格出力: 150W+150W(6Ω・0.003%)、170W+170W(4Ω・0.005%)、130W+130W(8Ω・0.003%) ●パワーバンド幅: 10Hz~100kHz(歪0.02%・65W・8Ω) ●ダンピングファクタ: 200以上(1kHz・8Ω) ●入力感度/インピーダンス: PHONO 1.=MC:100μV/100Ω・1kΩ, MM:2.5mV/47kΩ(220pF, 330pF)・100Ω, PHONO 2.=MM:2.5mV/47kΩ・220pF, 150mV/47kΩ(AUX), 1V/100kΩ(MAIN IN) ●全高調波歪率: 0.004%(MC→REC OUT)、0.003%(AUX他)→SP OUT 65W/8Ω, 0.002%(MAIN IN)→SP OUT 65W/8Ω ●周波数特性: +0、-0.5dB ●RIAA偏差: ±0.5dB(MC・MM10Hz~100kHz)、±0.2dB(MC・MM20~20,000Hz) ●SN比(IHF-A): 83dB(MC250μV)、88dB(MM2.5mV)、106dB(AUX他) ●RICHNESS: ①:7.5dB/30Hz(NS-2000用)、②:7.5dB/40Hz(NS-1000X、1000M用)、③:7.5dB/50Hz(汎用) ●電源/消費電力: AC100V、50/60Hz・420W ●寸法・重量: 473W×169H×464Dmm・26kg



ステレオプリメインアンプA-2000a ¥195,000